

# 平成31年度 事業計画（案）

## 協会理念

全ての救いを求める人々に手を差し伸べるという仏教福祉の理念を基本とし、常にやさしさと笑顔を絶やさず、敬いの心を持って共に歩みます。

社会福祉法人高田福祉事業協会

# 平成31年度 社会福祉法人高田福祉事業協会事業計画

## 1. 事業運営方針

高田福祉事業協会は、2021年に創立100周年を迎えます。社会福祉法人は、社会や、地域における福祉の充実・発展に寄与することが使命であり、多様な生活課題や福祉需要に柔軟に主体的・公共的に取り組む信頼性の高い法人であります。

特に、協会においては、創立当時から受け継いできている仏教福祉の思いや理念を大切にしながら、質の高いサービスの提供と多様な生活課題に対応し、地域の住民の方や利用者のニーズの目線に立った事業を展開してきました。

平成30年の介護保険制度改正・報酬改定は協会の財政運営及び事業運営にも大きな影響があり、施設の老朽化に伴う修繕費や固定資産の取得の資金調達も厳しい状況であり、将来に向けての中長期的な事業推進計画、財政計画の策定が急務となっています。

一方、少子高齢化が進む中、人生100年時代を見据えた誰もがいくつになっても元気に安心して暮らすことのできる社会をつくるための人づくりが進められており、事業継続可能な人材の確保と目的達成に必要な人材の確保、そして安心して仕事ができるための労働環境づくりを整備し、人材の定着と「働きやすさ」と「働きがい」のある職場づくりを進めます。

## 2. 事業実施項目

### (1) 計画的な事業運営と財務基盤の安定

法人及び各事業所は、適正な収益の確保、安定的な財務基盤の確立、法令や定款等に沿った事業運営を計画的、効率的に実施し、透明性の高い財務管理に努めながら今年度から中長期的な視点からの事業計画、財務計画を作成する。

- ① 施設長、管理職員等による運営・経営会議の開催（月1回）
- ② 法人100周年事業準備会議の開催

### (2) 人材育成の充実とキャリアアップ支援

法人事業の推進に必要な人材を確保するために導入している、勤務年数に応じた格付試験、人事考課の実施、キャリアアップセミナー受講費、資格取得費等の経費の補助を通じ、人材確保の為に育成システム（職場内研修、職場外研修、自己啓発）の充実とキャリアパス（将来の姿を描くことが出来るような仕組みづくり）を継続する。

- ① 法人主催全職員を対象とした研修会の開催 年3回（6月、10月、1月予定）
- ② 格付け試験の実施（準主任格、主任格、準管理者）
- ③ 人事考課の実施
- ④ キャリアアップの為に生涯学習講座の開催（職員の希望により講座を開催）

### (3) 職場環境の整備

職員が安心して働くことが出来る職場環境づくりの一環として、育児や家庭事情に配慮した勤務条件等積極的に導入を図り事業の効率性を高めるうえでも効果があり、職員の定着にも繋がっている。今まで以上にコンプライアンスを徹底し、魅力ある職場環境づくりの実現を引き続き進める。

- ① 職員健康診断の実施（年2回）
- ② ストレスチェックの実施
- ③ 安全衛生委員会の開催（月1回）
- ④ 事業所内保育所設置事業の推進
- ⑤ 5S活動の周知及び実施（整理、整頓、清潔、清掃、しつけ）
- ⑥ 受動喫煙防止対策の実施（改正健康増進法一部施行：2019年7月学校、病院、児童福祉施設等、全面施行：2020年4月）

## 3. 福祉施設の運営と在宅福祉事業等の実施

### (1) 福祉施設の運営

- ① 養護老人ホーム「高田慈光院（定員100名）」（特定施設）
- ② 特別養護老人ホーム「高田光寿園（定員100名）」
- ③ 軽費老人ホーム「高田ケアハウス（定員36名）」（このうち特定施設入居者生活介護事業所枠20名）
- ④ 保育所「高田保育園（定員130名）」

### (2) 在宅福祉事業、公益事業の実施

- ①老人デイサービス事業（通所介護）
- ②老人介護支援センター事業
- ③老人短期入所事業（ショートステイ）
- ④老人居宅介護等事業（訪問介護）
- ⑤配食サービス事業
- ⑥居宅介護支援事業
- ⑦附属診療所事業

#### 4. 協会の事業

- |                  |          |          |                         |
|------------------|----------|----------|-------------------------|
| (1) 理事会、評議員会、監事会 | 平成31年 5月 | 監事会      | 平成30年度事業及び決算の監査         |
|                  | 平成31年 5月 | 理事会      | 平成30年度事業及び決算の審議         |
|                  | 平成31年 6月 | 評議員会     | 理事の選任について               |
|                  | 平成31年12月 | 理事会      | 平成30年度事業及び決算の審議         |
|                  | 平成32年3月  | 理事会・評議員会 | 平成31年度事業実施状況            |
|                  |          |          | 平成31年度補正予算(案)の審議        |
|                  |          |          | 平成32年度事業計画(案)収支予算(案)の審議 |
- (2) その他、協会役職員物故者追弔法要、利用者等物故者追弔法要、親鸞聖人報恩講の勤修、並びに地域高齢者招待慰安事業、陶芸友の会活動等、地域への施設開放事業の実施と継続。

#### 5. 協会附属診療所の運営計画

診療所における診療関連業務効率化を昨年実施し、財政収支の改善と適正な診療報酬収入の確保のために一層の努力をする。

又、引き続き、老人性疾患の治療・研究の蓄積を活かし、施設利用者の方々の一層の健康管理に心掛け、安心出来る生活衛生環境の向上に努め、併せて、施設職員のメンタルヘルスの向上や健康管理などの啓発に努めるとともに、地域住民の方々の予防的医療の増進に寄与出来るよう事業推進する。

# 平成31年度 老人ホーム高田慈光院事業計画

## 1. 事業目標

地域包括システムの中の高齢者セーフティネットの役割を果たすと共に、老人福祉法の理念である敬愛すべき対象者として、その生活上にある支援を軽減することを最大の目標とし、日々の仏教的活動を通じ、一層の尊厳に値する人格の陶冶を目指していく。

又、最後迄安心して暮せる施設となるべく、「一般型」への移行を具体化し、特定施設としての機能を十分に生かしていきたい。

## 2. 年間処遇計画及び管理運営計画（後添）

## 3. 具体的な利用者処遇目標

- ①利用者への「生活の場」の提供を常に意識し、利用者個別性や生活習慣を大切にしていく。
- ②共同生活での利用者どうしの相互理解や助け合い精神の醸成に努める。
- ③各クラブ・サークルを継続、拡大し、ボランティア等の協力を得て楽しみや生きがいのある日々の提供支援を継続する。
- ④より長く、健康で元気な日々の継続の為、医療看護やリハビリ、介護、給食の連携を強化する。
- ⑤給食における食事提供は、引き続き、利用者ニーズの把握に努め、嗜好に合う食事作り、又、利用者重度化（特定施設）に対応する嚥下困難者へのソフト食提供等を継続する。

## 4. 職員目標

- ①利用者や家族から、一層評価され「選ばれる施設」であるよう、常に新たな気付きや取り組みを積極的に図る。
- ②上記の実現の為、職員の専門性向上の為の研修会やセミナーを通じ、現場、業務の中に反映する工夫に努める。
- ③利用者情報の早期把握や共有化を目指し、具体的にはアイパッドネットワーク及び記録ソフトの導入を図り、より精度の高いサービス提供や効率化を合せて目指せるシステム化に取り組む。

## 5. その他の取り組み

- ①リスクマネージを一層強化し、安全、安心の日常生活環境の提供の一層の工夫。
- ②誰しにも訪れる終末についても、そのケアや環境のあり方の研鑽を欠かさず、具体的かつ一体的なケア体制の意識作りと実践を図っていく。
- ③施設全般の老朽化対応については、専門家等との連携を密にし、遅れのない対策を講じていく。

# 平成31年度 特別養護老人ホーム高田光寿園事業計画

## 1. 事業目標

老人福祉法及び介護保険法の理念に引き続き添い

- (1) 利用者が多年にわたり社会の進展に寄与し、かつ豊富な知識と経験を有する者として敬愛され、生きがいが持てる健全で安らかな生活の提供を行う。
- (2) 加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により、常時介護を要する利用者が、その有する能力に応じて自立した生活を営むことのできるよう、必要なサービスの提供を行う。

## 2. 年間処遇・管理運営計画（別紙一覧参照）

## 3. 事業方針

本年度も、毎朝の仏参に始まる穏やかな一日と、利用者の心身の状況や個別性に合わせた介護サービスを提供し、協会理念に添った敬いの心と感謝の心の涵養、そして安心と喜びの日々の実現に努める。合わせて一層の健康管理、生活リハビリの提供、口腔ケアの強化、疾病の予防と適切な治療、時に迎える終末期を利用者・家族・職員が共に受容できる一貫した心のこもったケアの体制を維持する。

その他、事業内容の公開、外部評価の活用、又、介護職員の処遇改善等開かれた施設作りに引き続き積極的に取り組んでゆきたい。

### (1) 利用者処遇 — 個別の尊重と個別的ケア取り組みの推進（寄り添いケアの推進）

利用者個々に、その尊厳の尊重・自立支援・生活の活力の回復を図り、「その人らしさ」の実現に向けた個別ケアの推進を続ける。

#### ① 「丁寧、明るさ、気付き、気配り、統一性」の強化

利用者の主体性・自主性・尊厳を引き出し、寄り添いを心掛け、接遇と気配り・言葉のかかわりの工夫・強化を更に進める。特に身体拘束等の適正化を図る。

#### ② 重度利用者の増大への対応強化

要介護度3以上という入所条件にて、認知症状を持つ利用者、又、経管栄養や医療関与を要する利用者が増大している。従って、認知症対応の資格取得や能力の高い職員育成、特定行為を行なえる職員の養成等に力をいれてゆきたい。

### (2) 利用者処遇 — 医療看護・給食

常勤医、診療所併設の施設として、医療面で利用者及び家族に大きな安心を得てもらえるよう努め、合せて個別生活リハビリテーションの実施を引き続き行なう。

給食については、より満足感を持ってもらえるよう、アンケートの活用、介護現場との情報交換の徹底、ソフト食の提供等、積極的に進め、合せて個々に最適な栄養ケアを行うため、栄養マネジメントに取り組んでいく。

その他、仏教福祉施設として、精神面を含む利用者・家族へのターミナルケアのアプローチ、リビングウィルの確認等も引き続き実施してゆく。

### (3) 管理運営 — 事業運営改善の取り組みの強化と職員体制及び質の確保

運営状況は相変わらず厳しいものである。しかし、本園における利用者介護サービスは、可能な限り利用者中心の最善のお世話を目指す体制（職員体制、サービスレベル等）を維持してきており、今後も低下させることはできない。介護保険の仕組みの中で、出来る限り可能な報酬加算を確保し、支出分野においては、無駄な経費の削減・節約に一層努力したい。

その他、介護・看護職員の採用、確保は相変わらず厳しい状況が続くものと想定される。このような中、適正で質の高いサービスを提供し続ける為、以下の点を重点的な取り組みとして本年度も進めたい。

- ① 職員の定着と安心できる職場環境の推進・・・昇格試験を含む協会キャリアパスシステムを基本として処遇改善を図り、職員一人一人が目標と働きがいをもち、持てる能力を最大限生かしつつ、かつ働きやすい職場作りを職員と共に進めてゆく。
- ② ユニット毎のチームワーク強化につながる研修を行い、総合的に組織力向上につなげたい。
- ③ ユニット毎の専門性（技術）の追求と全体へのフィードバック・・・ショート専用ユニット、重度利用者ユニット、元気ユニット毎の独自の取り組み（家庭介護の継続、経口維持、看取り、医療連携、コミュニケーション等）と全体でのスキル共有の推進を引き続き図る。この為、外部専門講師や企業、メーカー等との勉強会を本年度も取り入れる。
- ④ 各委員会システム（リスクマネジメント、拘束廃止（人権擁護）、感染・褥瘡対策、機能訓練、サービス検討、特定行為安全管理委員会等）の活動を継続し、質の高い安心できるケアと情報共有を引き続き進める。
- ⑤ 体系的な外部研修及び、資格取得の協力・応援・経費補助を続ける。
- ⑥ 認知症状を持つ利用者の急増に対応し、昨年同様、認知症ケア専門士資格取得、他関連資格取得をすすめ、合せて内部伝達研修等にも積極的に取り組む。

### (4) 管理運営 — その他

- ・ 利用しやすい開放された施設として引き続き、多種の実習受入協力、地域自治会、区市社会福祉協議会、ボランティア、その他団体との交流推進を進める。又、文集「光寿のこえ」を活用し利用者家族の意見収集を具体的に進める。
- ・ 利用者権利擁護等、顧問弁護士を中心として、適切な対応を継続する。
- ・ 震災等を含む各防災訓練及び研修の継続。
- ・ 今年度も、エアコンの取り換えを行う（各居室へ家庭用エアコンの導入を：H31年3月末で、92台中、42台を交換済）

## 平成31年度 高田在宅福祉サービス事業計画

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の中の役割、改正の介護保険制度への対応と次回の改正に向けて新たな取り組みの創造を基本に、1号被保険者のみならず2号被保険者を含めたサービス支援の広がりをもたせ、障害者、子供、生活困窮者など世帯単位の中で抱える生活課題とニーズに対しての支援の充足を図り、協会の在宅支援事業がより地域共生社会の具現化をはたせるよう、協会各種機能の地域開放に取り組み、地域内における具体的な生活支援と在宅生活延長への活動を、さらに深化させていきたい。

1. 個々のご利用者が抱える課題分析の下、生活意欲、生活機能、支援状況の独自性と可能性を見極め、地域社会の中で生きることを意識した具体的なサービスと狭間にあるニーズへの支援を連携の中で継続する。
2. ご家族が抱える世帯としての課題、介護上のニーズをより意識して、側面的なサポートに留まらず、アウトリーチの継続と、コミュニケーション技術の向上を図りながら、生活課題の解消に向けた関係機関との密接な連携の下で、地域生活の安定を図れるようにする。

(実施事業種別)

在宅介護支援センター（地域型での委託事業）

居宅介護支援事業

通所介護事業（通常規模型通所介護）

訪問介護事業

\*各介護保険事業所は、介護予防の事業所も兼ねる。（平成30年度より津市の総合事業へ移行）

(1) 在宅介護支援センター事業

地域共生社会（我が事・丸ごと）実現に向けた施策の継続や、津市内包括支援センターや地域の医療機関との連携強化に努め、在宅生の継続を支援すると共に、自立支援に向けてのキャリアアップの中で、生活能力に応じた具体的なサービスの提案や、介護負担軽減への助言を通じ、地域における暮らしやすさの構築に向けた支援を継続していく。

- ・包括支援センターとの研修及び会議 隔月及び随時（地域ケア会議を含め）
- ・津市高齢者実態把握 随時
- ・地区民生委員との連携 随時（隔週での一身田地区での相談会開催）
- ・職員研修会への参加 「地域包括ケアシステムについて」

(専任スタッフ 1名)

(2) 居宅介護支援事業

1号及び2号被保険者へのケアマネジメントを通じた介護サービスに留まらず、障害者サービスや地域にある社会資源及びインフォーマルサービスなどの支援を活用することで、個々の世代の対象者が持つ生活能力を生かし、地域や世帯の中でより自立した暮らしの取戻しと継続できる為のケアプランを実践していく。

また、介護力としてご家族が持つ課題の解消に努め、安心できる介護環境を整える中で、ご本人とご家族が継続的に暮らせるサービスの提供を具現化していく。

- ・ケアプラン作成 35ケース／1名
- ・介護予防プラン 3ケース／1名
- ・アセスメント 半年毎の定期見直し・退院時及び随時
- ・サービス担当者介護の開催 1回／6ヶ月
- ・モニタリング 1回／月
- ・ケース会議 1回／月
- ・職員研修への参加 専門員研修会、先進的地区の見学及び研修、施設内研修（生涯学習講座など）
- ・職員の福利厚生 有給取得日数の向上、残務時間の軽減（ノー残業デーの設定など）
- ・情報共有 バイタルリンクへの対応（津市在宅療養支援センターとの共有）

(専任スタッフ 1名 兼務1名 計2名)

(3) 通所介護事業

ご利用者ニーズに応じた利用時間帯の細分化（1時間単位）を図ることで、生活スタイルに合わせた利用しやすい通所介護の環境を整えることで、心身機能の改善を目標に、利用者へのアセスメント・モニタリング技術を高め、より生活自立につながる機能訓練やアクティビティ、生活活動の充実を図ると共に介護度や介護力に準じた具体的支援を実践していく。

○事業形態

定員 35名

○管理運営

- ・ケース会議 1回/月 (A・Bグループ別)
- ・担当者会議 1回/月 (最終月曜日)
- ・リハビリテーション担当会議 1回/月
- ・アクティビティ担当会議 1回/月
- ・個別援助計画の見直し ケアプランに準ずる
- ・個別の能力評価 1回/3ヶ月毎
- ・職員研修への参加 デイサービス協議会研修、先進的デイサービスの研修、介護労働安定センターなどの外部研修、施設内研修 (生涯学習講座)
- ・資格取得への支援 介護支援専門員、社会福祉主事など
- ・職員の福利厚生 有給取得日数の向上、残務時間の軽減 (ノー残業デーの設定など)

\*自立支援への具体的な取組

- ・家庭で生かせる生活能力開発への取り組み
- ・残存能力を発揮できる生きがいプログラムの確立 (生活能力の回復)
- ・生活活動を繰り返すことでの能力・意識の回復 (出来ていた事の回復)
- ・興味をもち生活の広がりになる活動 (書道・絵・DVD鑑賞・音楽・計算ゲームなど) の取り組み
- ・地域社会の中で活動 (参加から活動へ向けて地域行事などへの参加)
- ・対象者 生活に自らが主体性を持つ方

\*個別的対応「個々の過ごしのリズムの重視」による生活意識と意欲の回復

- ・寝食の分離を基本とする
- ・動けること、歩けることの見守り (見て守れる距離の確保)
- ・自立した食事・排泄能力の回復 (個別化への工夫の実践)
- ・個別の機能訓練メニューの計画・実施・評価 (PTによる指導)
- ・自宅環境に準じた環境での生活動作訓練
- ・生活範囲や個別の関心や生活目標を意識した活動
- ・生活を取り戻す活動 (園芸・調理・おやつ作り・手芸・農作物の栽培など) の取り組み
- ・地域社会の見学 (墓参・故郷探訪・公共施設等の見学)
- ・対象者 支援することで、自らが主体性を持つ方

\*集団活動及び個別的対応「人とのふれあい」の中での生きがいの再構築

- ・その方らしさの時間の流れと穏やかな過ごしへの洞察と導き (生活リズムの維持)
- ・これまでの生活範囲や個別の関心や生活目標を意識した活動
- ・生活を取り戻す活動 (園芸・調理・おやつ作り・手芸・農作物の栽培など) の取り組み
- ・対象者 活動の中で主体性意識できる方

○アクティビティメニューによる取り組み「その人らしい暮らし方の為に」

- ・工作、手芸、音楽、レクリエーション、陶芸、園芸、野菜の栽培と収穫、おやつ作り、調理、囲碁、将棋、麻雀、グラウンドゴルフ、大工仕事、その他の生活活動、日常動作訓練 (個別Ⅰ・Ⅱ)、筋力強化訓練 (介護予防)、パソコンゲーム (Wii など)、デジカメ、DVD鑑賞の中から目的に合わせた個別的で柔軟な取り組みを図る
- ・年間を通じての活動支援や継続性のある活動の提案、自主的活動への側面的支援を続ける

○年間の活動サイクル 「続けてきた生活習慣を回復して頂く為に」

- ・お花見  
梅、桜、つつじ、藤、ひまわり、コスモス、紅葉狩りなどを楽しむ
- ・屋外活動 (一部介護保険外で)  
本山参拝 (お七夜・春秋の彼岸)、墓参、初詣、地域散策 (博物館・美術館を含め)、喫茶、外食などを楽しむ
- ・四季の行事  
花祭り、端午の節句、母の日、父の日、七夕、土用の丑、敬老の日、秋分の日、クリスマス会、忘年会、餅つき、節分、雛祭り、春分の日などに合せた行事企画
- ・誕生会、祝日行事など  
自由食・選択食・バイキング・祝い膳・鉄板焼きなどの食を通じての楽しみへの働きかけ

・その他

門松作り、七草粥、ぼた餅作り、菖蒲湯、ゆず湯、クリスマスツリー作りなど暮らしてきた習慣や経験を生かす活動、地域に根ざした活動など時候に応じて生活感に働きかけていく。

- ・環境改善 自走しやすい車いすの導入（H14年度導入車いすの老朽化への対応）  
車いすの必要な修理（H14年度導入車いすの老朽化への対応）  
送迎車両のリース契約から買い取りへの対応  
ホール内テーブル購入（H14年度導入老朽化への対応）
- ・機能訓練用具の充実 トレーニング器具などの追加購入、生活空間に近い環境の整え（PTによる個別訓練の中で）
- ・ご利用者、ご家族との情報交換 家族懇談会・会食（昼食への招待）・季節行事への参加など
- ・障害児や障害者等の受け入れ
- ・ボランティアを目的とした地域住民の受け入れ
- ・協会のサービス利用者を対象とした配食サービスなどの充実

(4) 訪問介護事業

ご利用者の生活形態の変化（重度利用者から単身及び夫婦世帯の増加、生活地域別のニーズ変化など）や、具体的介護に加え、精神的なケアを含めた生活継続への専門的な対応へ自立した生活への底辺からの支援を継続し、在宅生活の継続が図れるようにしていく。また、総合事業への移行や特定施設との連携を含め、事業自体の運営などを見直し、様々なニーズへの対応力も深めていく。

- ・ケース会議 1回/月
- ・担当者会議 1回/月
- ・個別援助計画の見直し ケアプランに準ずる
- ・職員研修への参加 ホームヘルパー協議会などの外部研修、施設内研修（生涯学習講座）
- ・資格取得 介護支援専門員など
- ・職員の福利厚生 有給取得日数の向上、残務時間の軽減（ノー残業デーの設定など）

（専任スタッフ 3名内、1名は産休 パートスタッフ 3名）

(5) その他

複合施設としての独自性を生かし、地域ニーズへの必要な施設機能の開放を進める為、その把握に努め、一層地域に開かれた事業展開を図っていく。

- \*在宅高齢者へのアンケートによるニーズの把握 半年毎
- \*ご利用者・ご家族との意見交換会 半年毎
- \*施設見学会の開催 随時

# 平成31年度 軽費老人ホーム高田ケアハウス事業計画

## 1. 事業目標

高齢社会が進む中で、高齢者の権利を守りながら、社会福祉法が求める地域から信頼される施設経営を行えるように努める。

利用者個人個人に合った、日常生活に必要な支援を行う介護支援計画を策定し、健康で明るい自立した生活を送れるよう介護サービスの充実を図る。そして、専門の講師による勉強会を継続し、質の高い介護技術を身に付け入居者の高齢化、重度化に対応した援助に心がける。また、施設利用者はもとより、利用者の家族・地域住民の方々との交流も進め、施設も地域社会の一員としての役割を果たせるように努める。

## 2. 事業実施方針 「利用者本位の処遇」を目指す

- 【自立型】
  - ・利用者が持っている思いやりの心、助け合いの気持ちを大切にする。
  - ・利用者が地域の一員として地域に関わり、自分らしく、生き生きとした生活を送れるよう援助する。
  - ・要介護者へは、家族や外部サービス事業所と連携し、現在の生活が維持できるよう利用者の生活を支える。
- 【介護型】
  - ・自分で出来る事を利用者とともに見つけ、利用者が出来ることに喜びを見出せるよう援助する。
  - ・利用者同士の関わり、ご家族とのつながりを大切に援助を心がけ、利用者が安心して心安らかに毎日を過ごせるよう援助する。

### (1) 特定施設入居者生活介護事業

- ・自立支援のための援助（介護予防）

利用者の心身の状況をふまえ、日常生活を送る上で必要な生活機能の改善・維持の為に機能回復及び減退防止等予防的な援助を含めた援助を行なう。

- ・日常生活上の援助

身体に応じたグループ別の活動を強化し、生活に楽しみを見つけ、他の入居者と交流を深める事で、毎日をより豊かに生活できるよう援助する。

- ・個別のケアプランの策定を行ない、一人一人の希望や状態に応じた日常生活の援助を行なう。

### (2) 医療・看護

定期健康診断を年1回実施し、個々の利用者の健康状態に即応した健康の保持、疾病の予防に努める。又、日常生活に必要な生活機能の改善と維持、及び減退防止を重視した取り組みを行なう。

### (3) 相談助言・関係機関連携

- ・利用者の各種相談に応じ、適切な助言に努める。
- ・市町、医療・福祉サービスとの連携を密にし、必要な利用者サービスの提供に努める。
- ・苦情解決制度等を活用し、迅速な対応を行ない、利用者の福祉サービスに対する満足感を高める。

### (4) 食事

管理栄養士による献立に基づいて、専任の調理員による栄養バランスのとれた食事を提供し、食事内容に対する利用者の意見を踏まえることにより、利用者から喜ばれる楽しい食事環境づくりを進める。定期的に選択食を実施し、食の楽しみを提供する。

又、利用者の健康、身体状況に応じた調理方法で食事を提供する。

### (5) 利用者活動への援助

利用者の主体的な趣味、教養娯楽、地域交流、クラブ活動等などの実施に積極的な協力を行う。そして、入居者個別の活動として、入居者個々の希望を聞き、実現を援助し、入居者の楽しみや生きがいにつなげる。

### (6) 管理運営

- ・介護、看護、ケア計画担当者等の職員資質向上のための施設内外研修への参加を図り、職員のキャリアアップを支援する。
- ・高齢化、重度化が進んでいる事から、専門の講師による勉強会を実施し、より高い介護技術を習得する。
- ・利用者意見聴取のための懇談会等の継続実施。
- ・ヒヤリ・ハット報告を適切に行い、介護事故防止に努め、又、抑制廃止の取り組みを進める。
- ・利用者、ご家族より終末について希望を聴き取り、地域の医療機関と連携しながら、穏やかな終末を迎えられるよう、援助する。
- ・各委員会（運営委員会、感染症及び食中毒対策委員会、美化委員会、身体拘束廃止委員会等）を開催し処遇の向上に努める。
- ・人事考課制度の導入により高田福祉事業協会の求める職員像を目指し、日常業務の中で具体的に取り組みを進める。

### (7) 地域との連携

- ・地域の催しに参加する等、地域に積極的に出かけ、地域住民との交流を深め、地域の一員として意識を深める。又、一身田地区青少年育成協議会等を通し、地域住民と共に子供の育成にも積極的に関わる。

### (8) 防災

- ・津市の「福祉避難所」の指定施設として、地域の要援護者が避難できるよう、受け入れ体制の充実を図る。また、入居者、職員の安全確保の為に避難訓練を実施する。
- ・災害発生時に必要な対策が円滑に行えるよう、行政機関や消防署、医療機関、ライフライン業者などの関係機関及び地域の自治会と連携した体制作りを進める。
- ・火災、地震時の対策に加え、大水や洪水による水害への対策を整備し、講習、訓練を実施する。

2. 年間処遇計画及び管理運営計画

月	処 遇 概 要			管 理 運 営	職 員 研 修
	利用 者 生 活 目 標	主たる行事予定	諸 活 動		
4	<b>感謝する心</b> 生活の豊かさ、皆に支えられていること、生命を頂いていること、全てに感謝する毎日を送ろう。	花 祭 り お 花 見 誕 生 会	<b>◎サークル活動</b> ・音楽 ・踊り ・詩吟 ・茶道 ・書道 ・気功 ・生活 ・新聞 ・園芸 「慈光院新聞」発行 (月1回)	<b>◎運営管理</b> (会議等) 各施設長合同運営会議(月1回) 職場連絡会・代表者会議(月1回) 職員会議 (月1回) 主任会議 (月1回) フロア会議兼ケース会議(月2回) 給食会議 (随時) ヘルパー会議 (随時)	・全国/県老協主催研修会 ・県社協主催職員研修会 ・津市老人福祉施設職員研修会 (年3回) ・協会職員研修会 ・施設内勉強会 ・津市老人福祉施設職種別研究会 ・先進施設視察研修 ・感染予防対策研修 ・その他外部研修への積極的参加
5		宗 祖 降 誕 会 誕 生 会 消 防 設 備 作 動 訓 練 一 泊 旅 行			
6	<b>思いやる心</b> 共に助け合い、他人をとがめることなく、支え合う仲間意識を育てよう。	創 立 記 念 行 事 協 会 文 化 祭 誕 生 会 非 常 通 報 作 動 訓 練	<b>◎グループワーク</b> フロア活動(週1回) ボランティアによる紙芝居 (月1回) 個別援助ワーク(適時) 利用者・職員座談会 (月1回) 本山行事への参加 (適時)	<b>(委員会・実行委員会)</b> 処遇向上委員会 (月1回) 食事委員会 (月1回) 行事委員会 (月1回) 創立記念実行委員会 (随時) 納涼会実行委員会 (随時) 運動会実行委員会 (随時) 感染予防対策委員会 (年5回) 職員メンタル対策委員会 (随時)	
7		買 物 ツ ア ー 七 夕 行 事 誕 生 会 夜 間 想 定 訓 練 (日 中)			
8	<b>長寿と自覚</b> 長寿を共に敬い祝い合う日々の中、さらに豊かな心を育み、自立の意欲を高めよう。	歓 喜 会 納 涼 会 誕 生 会 夜 間 避 難 訓 練 (総 合)	<b>◎高田保育園児との交流会 (適時)</b>	(リスクマネジメント) ヒアリハットの活用 身体拘束廃止への取り組み	
9		敬 老 の 日 式 典 利 用 者 物 故 者 追 弔 会 町 内 合 同 慰 安 会 誕 生 会			
10	<b>健康管理</b> しっかりと健康が維持できるよう自己管理し、運動やリハビリテーションにも積極的に取り組もう。	運 動 生 会 誕 生 会 日 帰 り 旅 行 消 防 設 備 作 動 訓 練	<b>◎各種ボランティアの受入</b> ・高田本山派遣講師による慰問法話(月3回) ・サークル活動指導 ・理髪ボランティアの受け入れ 2名 (月4回) ・個人ボランティアの受け入れ	<b>◎特定施設サービス</b> パッケージプラン作成と活用 <b>◎防災</b> 総合防災(火災・地震)訓練(年2回) 防災設備法廷点検等 (随時)	
11		買 物 ツ ア ー 報 恩 一 誕 生 講 会			
12	<b>振り返り</b> 過ぎ去りし一年を振り返り、生かされていることに感謝しよう。	忘 年 会 誕 生 会 大 掃 除	<b>◎小・中学校等福祉活動実習の受け入れ協力</b>	利用者健康診断 (年2回) 血圧測定等 (隔月) 体重、身体測定 (隔月) インフルエンザ予防接種 (12月頃) 結核予防検診 (年1回)	
1	<b>目標(生きがい)</b> 新しい年を迎え、平和と豊かさに感謝し楽しみのある生活を送れるよう目標を作ろう。	修 正 会 初 笑 い 会 初 釜 (茶 道 クラ ブ) 新 年 会 誕 生 会	<b>◎大学・専門学校等実習の受け入れ協力</b>	(専門協力医による診察) 歯科 (月1回) 皮膚科 (月1回) 神経内科 (月2回)	
2	<b>節約と片付け</b> 日々の片付けで生活環境を整え、物を大切にしつつ、おだやかな日送りに努めよう。	伊 勢 神 宮 参 拝 節 分 (豆 ま き) 誕 生 会		<b>◎その他</b> 職員健康診断 (年2回) 職員成人病検診 (希望者) 職員HBワクチン接種 (希望者) 職員インフルエンザ予防接種 (希望者) 職員O-157等検査(調理関係 毎月)	
3		ひ な 祭 り 役 職 員 物 故 者 追 弔 会 誕 生 会 地 震 対 策 訓 練 (総 合)			

2. (別紙)

年間処遇・管理運営計画一覧

年間目標		「利用者主体の個別的処遇の推進」			
月	管理目標	処遇概要		管理運営	職員研修
		主たる行事予定	諸活動		
4	ご利用者を敬う (明るく挨拶をする)	お花誕	花祭生 見り会	<b>◎管理</b> ・行事企画会議 ・幹部職員会議 ・給食会議 ・ケース会議(ユニット・全体) ・職員会議 (リスクマネジメント委員会 感染・褥瘡対策委員会 拘束廃止委員会(人権擁護) 機能訓練委員会 サービス検討委員会 栄養マネジメント委員会 各施設長合同運営会議 (各、月1回) 入所順位判定委員会 (2カ月に1回) 特定行為安全管理委員会 (3カ月に1回) (随時) ・ケアプランニング及び ケアカンファレンス (利用者・家族参画の推進) <b>◎防災</b> 総合防災訓練 (年2回以上) 火災等法定保安点検(定期) <b>◎ボランティア受入啓蒙</b> ・各クラブ技術指導 ・託児ボランティア ・理髪慰問 ・園内外清掃 <b>◎職員処遇</b> ・働きやすい環境整備 (リフレッシュ休暇) (メンタルヘルス委員会) (ストレスチェック) (専門カウンセラーの活用) <b>◎その他</b> ・職員健康診断 (年2回) ・職員成人病検診 (希望者) ・職員HBワクチン接種 (職員希望者) ・職員O-157等検査 (調理関係 毎月) ・職員インフルエンザ予防接種 (職員希望者)	<b>◎研修</b> ・協会職員研修会 ・施設内勉強会 ・県社協主催職員研修会 ・デイ協老施設職員研修会 ・津福祉施設職種別研究会 ・津福祉施設職員研修会 ・その他外部研修への積極参加 ・資質向上有料セミナー(補助方式)
5	身だしなみを整える (制服をきちんと着る)	誕	生 会		
6	体調管理を行う (健康であり、遅刻などをしない)	創 立 記 念 行 事 会 誕 生 非 常 通 報 作 動 訓 練	・文集(月1回) 「光寿のこえ」発行 ・ユニット別レクリエーション (随時)		
7	声をかけあう (自からの所在を明らかにする)	七 夕 祭 会 誕 生 会 夜 間 想 定 訓 練 (日 中)	<b>◎リハビリテーション</b> ・個人プログラムによる リハビリ訓練(毎日) ・PTによるリハビリ指導 (適時)		
8	助け合う (相手のことを思いやる)	歓 喜 会 会 誕 生 会 夜 間 避 難 訓 練 (総 合) 会 納 涼 会	<b>◎保健衛生</b> (月次・隔月) ・体重測定 1/M ・血圧測定 1/M ・専門協力医による診察 (皮膚科 2/M 精神科 2/M 歯科(含口腔ケア) 8/M 眼科 1/M) ・健康指導 (適時) ・レントゲン・心電図検査 (適時)		
9	責任ある言動をとる (施設・各ユニットのルールを守る)	敬 老 の 日 式 典 会 利 用 者 物 故 者 追 弔 会 町 内 合 同 慰 安 会 誕 生 会	・インフルエンザ予防接種 ・肺炎球菌ワクチン接種 ・細菌汚染検査 (適時) ・レジオネラ菌等水質検査 (適時) ・シーツ交換 1/W		
10	正しく情報を伝える (口頭・文面などの工夫)	誕 生 会 消 防 設 備 作 動 訓 練	<b>◎地域福祉・地域交流</b> ・高田保育園児交流会 ・地域各催物への参加 ・地域合同慰安会		
11	きちんとした説明をする (聞きやすく、分かりやすさへの工夫)	報 恩 講 会 誕 生 会	<b>◎居室の適正化</b> ・居室変更・担当替え (適時)		
12	謙虚である (“させていただく”を忘れずに)	忘 年 会 会 誕 生 会			
1	感謝の気持ちを持つ (“ありがとう”を言い合う)	修 正 年 会 会 新 お 七 夜 参 拜 会 誕 生 会			
2	協会理念に照らし合わせて行動する (・心のこもったお世話を ・みんなで力を合わせて ・高齢者の寂しいという心に寄り添う覚悟をもって)	節 分 (豆まき) 会 誕 生 会			
3	振り返り・反省を行う	ひ な 祭 り 役 職 員 物 故 者 追 弔 会 誕 生 会 地 震 対 策 訓 練 (総 合)			

### 3. 年間行事等計画

月	行事予定	諸活動	管理運営
4	桜 花 見 花 ま つ り ( 協 会 )	毎 月 実 施	※管理 ・人事考課によるキャリアアップ ・職場連絡会 ・職員会議 ・ケアプラン検討会 ・介護技術勉強会 ・ケース会議 ・ヒヤリハット報告会 ・各専門会議 (運営委員会、感染症及び食中毒対策委員会、 美化委員会、身体拘束廃止委員会)
5	防 災 訓 練 日 帰 り 旅 行	誕 生 会 ( 協 会 ) 座 談 会	※防災 ・防災訓練 (年2回) ・防災設備法定点検 (定期)
6	創 立 記 念 行 事 ( 協 会 ) シ ョ ッ ピ ン グ	喫 茶 「 集 い 」 グ ル ー プ 活 動 個 別 活 動 援 助	※保健衛生 ・健康診断 (年1回) ・体重測定 (毎月) ・血圧測定 (毎月) ・インフルエンザ予防接種 ・機能回復訓練 (月2回)
7	防 災 訓 練 七 夕 ま つ り	ク ラ ブ 活 動	※その他 ・職員健康診断 (6月・12月) ・成人病検診 (同上希望者) ・職員HBワクチン接種 (職員希望者) ・インフルエンザ予防接種 (職員希望者)
8	歓 喜 会 ( 協 会 ) 納 涼 会 ( 協 会 ) 花 火 大 会	茶 道 ク ラ ブ 書 道 ク ラ ブ 気 功 ク ラ ブ カ ラ オ ケ ク ラ ブ	職 員 研 修 ・津市福祉施設職種別研究会 (隔月) ・津市福祉施設職員研修会 (隔月) ・県社協主催職員研修会 ・中南勢地区ケアハウス意見交換会 (年4回) ・老施協全軽協 施設長会議 (年4回) ・協会セミナー (年3回)
9	敬 老 の 日 式 典 ( 協 会 ) 利 用 者 物 故 者 追 弔 会 ( 協 会 )	地 域 交 流	
10	日 帰 り 旅 行 防 災 訓 練	地 域 各 催 物 へ の 参 加 施 設 内 の 催 物 へ の 参 加	
11	報 恩 講 ( 協 会 ) 紅 葉 狩 り	ボ ラ ン テ ィ ア 受 入 れ	
12	忘 年 会	傾 聴 ボ ラ ン テ ィ ア (2回/月) 個 人 ボ ラ ン テ ィ ア (2回/週) 施 設 内 外 清 掃	
1	修 正 会 ( 協 会 ) 初 釜 新 年 会 初 詣	家 族 交 流	
2	節 分 ( 豆 ま き )	家 族 の 行 事 参 加	
3	ひ な 祭 り 観 梅 防 災 訓 練 役 職 員 物 故 者 追 弔 会 ( 協 会 )		